

学習だより

第8号

令和3年11月5日発行

宇都宮市立姿川中学校学習指導部

文責 大島 信子

来週の8日（月）から授業時間割がⅡ期に入ります。時間割が一部変更になりますので、新しく配付された時間割をよく確認し、学習用具の忘れ物がないように注意して、集中して授業に臨みましょう。



◇授業・家庭学習強化週間②◇

11月10日（水）から23日（火）までを「授業・家庭学習強化週間②」と位置付けています。

1, 2年生は11月24日（水）の2学期中間テストに向けて、3年生は実力テスト⑥や入試対策として、次の点について普段以上に意識して学習に取り組んでいきましょう。

（1）授業において

- ・チャイム2分前着席。「基本姿勢」を保って、授業に臨む。
- ・学習用具などの忘れ物をしない。
- ・授業中、自分の意見をはっきり発言し、友だちの発表や教師の説明をしっかり聞く。
- ・学習のサイクル（予習→授業→復習）を定着させる。

（2）家庭学習において

- ・家庭学習時間を確保する。
→帰りの会で、スタンダードダイアリーにその日帰宅してから学習する内容を記入し、学習時間を意識して学習に取り組みましょう。
- ・学習計画表の活用
- ・自主学习ノートの提出

成果を上げる学習のポイント

- 出題範囲を見て「いつ」「何を」「どのくらい」勉強するか、学習計画表を作成し見通しをもつ。
- 計画通りに勉強できたことと予定通りに進まなかったことをチェックし、随時計画を修正する。
- 学習内容をまとめただけで満足せず、問題を自分で納得するまで繰り返して解き直す。
- 音読み問題文の意味をとらえる練習や自分の考えをまとめて書く練習を積み重ねる。

◇お知らせ◇



「宇都宮市学習内容定着度調査」及び「学習と生活についてのアンケート」が、次のように行われます。

11月27日（火）6校時「学習と生活についてのアンケート」**全学年実施**（40分）

11月28日（水）1～5校時「学習内容定着度調査」**3年生のみ実施**（1教科あたり45分）

☆出題範囲は中学1年のはじめから3年の11月までの学習内容です。（範囲表を配付します。）

【持ち物】HB以上の黒の鉛筆、プラスチック製の消しゴム（全学年）

◇とちぎっ子学習状況調査の結果より◇

5月27日（木）に2年生を対象に行われた「とちぎっ子学習状況調査」の生徒質問紙回答結果から、本校の生徒の様子をお知らせします。下の表では特徴的な項目を抜粋し、宇都宮市・栃木県の肯定的回答率の平均と比較して、＋は上回っているもの、－は下回っているものを表しています。（詳しくはホームページをご覧ください。）

○宇都宮市・栃木県より上回っている項目

質問項目	本校	市との比較	県との比較
・クラスは発言しやすい雰囲気である。	84.3%	＋3.1	＋4.9
・授業を集中して受けている。	92.8%	＋1.2	＋2.1
・授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている。	92.4%	＋1.5	＋3.3
・家で、学校の宿題をしている。	98.1%	＋4.9	＋5.3
・学校の宿題は、自分のためになっている。	92.9%	＋3.8	＋3.7
・自分がもっている能力を十分に発揮したい。	94.8%	＋2.8	＋3.7
・自分は家族の大切な一員だと思う。	93.4%	＋2.6	＋3.4
・家の人と学校でのできごとについて話をしている。	82.9%	＋1.9	＋3.0
・家の人は、あなたがほめてもらいたいことをほめてくれる。	82.5%	＋3.3	＋5.7

▲課題であると思われる項目

質問項目	本校	市との比較	県との比較
・家で、自分で計画を立てて勉強している。	64.0%	－2.4	－1.7
・学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	69.7%	－5.2	－4.4
・家で、決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている。	50.2%	－11.7	－8.6
・本やインターネットを利用して、勉強に関する情報を得ている。	58.3%	－12.4	－11.4
・将来の夢や目標をもっている。	66.8%	－5.4	－5.5

これらのことから、落ち着いた環境の中で、素直な気持ちでまじめに学習に取り組んでいることがうかがえます。さらに実力を高めるためには、自分から進んで学習に取り組むことや難しい問題にも粘り強く取り組む姿勢、計画的に学習を進めていく姿勢が求められます。

平日の過ごし方について、1日当たりの家庭学習時間は「2時間以上」と答えた生徒の割合は、市や県の平均より約4ポイント下回っていますが、携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間について一番多い回答が、市や県では「30分より少ない」に対して本校では「1時間以上2時間より少ない」でした。また、睡眠時間が「7時間より少ない」と回答した生徒の割合が、本校では市や県より5.5ポイント高いという結果から、1日の時間の使い方について、見直しが必要です。この機会に、普段の学習や生活を振り返り、学力を伸ばすためのより良い習慣について考えてみてはいかがでしょうか。

「家の人と学校でのできごとを話している」生徒の割合は市や県より上回り、家庭での会話が生徒の自己肯定感につながり、生徒が自信をもって行動することにつながっていると思われます。学校でも家庭でも「認めて・褒めて・励まして」の実践を通して、生徒一人一人が安心して自己表現し、持てる力を十分発揮していくことができますように、ご家庭のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

